

広報 第九十六号

さくら前線

年頭あいさつ

院長 中澤 和門

明けましておめでとうございます。

昨年は、災害の多い年でした。草津の白根山の噴火や防災ヘリの墜落は、群馬県に直接関係しているだけに切実な思いです。また非常に強い台風や大地震による甚大な被害が全国的に多く、まさに「災」の年でした。

今年は、平穏で平和な一年でありたいですね。年号が新天皇即位により、変わりますが、来年の東京オリンピックも控えておりますので、日本がかつての高度経済成長期のような好景気を取り戻していくことを願いたいものです。

吾妻さくら病院は、今年も地域医療に貢献していけるよう、他の医療機関との連携をとりながらスタッフ一同邁進していきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

お知らせ・・・

12月1日より、一部病室への面会制限とさせていただきます。ご不便おかけしますが、ご協力の程、宜しく願います。

薬局だより

抗菌剤(抗生物質)について②

主任管理薬剤師 門脇 寛篤

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞ、よろしくお願い致します。

今回は抗菌剤その式ということで、その種類や菌について解説しようと思います。

菌には幾つかの分類に大別されます。グラム陽性菌と陰性菌と嫌気性菌、桿菌と球菌、芽胞形成の有無です。もちろん、その他も存在していますが、今回はここまでの菌にしましょう。

グラム陽性菌は、グラム染色という手法で検査を行うと反応せず、色を保ったままの菌を指します。存在する場所は、陽と書いてるように、太陽の日差しのある場所(表皮)や上部消化管(概ね十二指腸より口側)に存在し、常在菌と呼ばれる菌が多いです。この菌は、弱った身体となった際に悪さをすることが多いです。体力のある方は、何も異常を感じません。逆にグラム陰性菌は、グラム染色で色が脱色します。また、抗菌剤は効く種類が異なります。シュードモナスと呼ばれる緑膿菌やレジオネラといった菌が該当します。

芽胞形成する菌は、その「芽胞」と呼ばれる回りを囲っている膜により、菌が守られてしまっているため、死滅させることは難しくなっています。逆に、その死滅されないことを利用し、抗菌剤に耐えつつ整腸作用を促すミヤBMやビオスリーといった製剤もあります。芽胞の有無はポイ

ントとなります。

これらの多くの種類の菌で悪い菌を死滅させるために、培養をした上で菌を特定(同定)し、適正な抗菌剤を目安として最大14日分を投与すると、体内炎症反応が改善していき、菌がいなくなるという流れとなるわけです。抗菌剤にはカルバペネム系のような広域スペクトル(範囲)を持つタイプや狭いスペクトルのタイプなど、様々です。抗菌剤投与後も全く炎症反応が改善されないようですと、薬剤の変更を行うこととなります。それらを特定する手法が先述した培養となります。

理想は、発熱等感染が疑われたらまず資料を摂取し培養し、結果が出たら抗菌剤投与を開始し、炎症反応が消失したら終了・・・ですが、検査結果が出るまで対応の時間もかかることから、経験則で事前投与しておく流れが現状となっています。今回は、抗菌剤その③をお送りします。

形態	グラム陽性菌	グラム陰性菌
球菌 ●	ブドウ球菌、レンサ球菌、肺炎球菌、腸球菌	淋菌、髄膜炎菌など
桿菌 ▭	無芽胞菌 (ジフテリア菌、結核菌、リステリア菌、放線菌など)	腸内細菌、百日咳菌など
	有芽胞菌 (破傷風菌、ガス壊疽菌、ウェルシュ菌など)	
その他	真菌	マイコプラズマ、原虫、

院内感染防止「冬の感染症に注意(インフルエンザ)」
対策委員会

委員長 阿左見みゆき

寒の入りとともに、いよいよ寒さも本格的になってきました。

今回は、インフルエンザについてお話しします。インフルエンザは、例年11月から12月頃に流行が始り、1月から3月にピークを迎えます。普通の風邪と異なり、突然の38度以上の高熱、関節痛などの他、倦怠感や食欲不振などの全身症状が強く現れるのが特徴です。

インフルエンザの主な感染経路は、飛沫や接触感染です。対策としては、咳エチケットや手洗い等の手指衛生が非常に重要です。流行を防ぐために、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲の人につさせないようにすることが大切です。

感染を拡げないためにも一人一人が、罹らない、うつさないように日々の手洗いを心がけ、必要なワクチンはきちんと接種し、予防できる感染症は、予防するのが一番です。

・・・当委員会活動の取り組み・・・

「院内感染」とは、入院中の患者様が病院内で入院の原因になった病気とは別に、新たに感染症に罹患したり、医療従事者が病院内において感染することです。

院内感染は、人から人または医療器具などを媒介として感染し、特に、免疫力の低下した患者

様や新生児、老人などは通常の病原微生物だけでなく、感染力の弱い細菌による院内感染(日和見感染)を起す場合があります。

さらに、日和見菌のなかには耐性菌といって、抗生物質が効かない、あるいは効きにくくなる MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)などによる院内感染が社会問題となっています。

このような院内感染に対して、院内感染の予防と感染症発生時に適切かつ迅速な対応を行う「院内感染防止対策委員会」を組織し、院内感染の予防に努めています。

具体的には、患者様に対する日々の予防と発生した場合の原因の調査・拡大を防ぐ方策を討議し、院内感染対策マニュアルを作成・更新し、年2回の院内講習会の実施、院内パトロールによる衛生面での指摘や指導を行う、などの活動をしています。



※インフルの空気感染は問題視する必要なし

病院だより

● 医療の問題・介護の問題があり在宅での生活が困難な方や転院、人工透析療法、訪問診療を希望されている方など、ご相談は医療相談窓口にて対応させていただきます。

診療案内(1月)

診療科		月	火	水	木	金	土
内科 循環器科	午前	中澤※1	中澤	中澤	中澤	於川※2 (中澤)	於川
	午後						休診
外科 胃腸科 (整形・リハビリ科)	午前	高橋 (群大)	村主 (群大)	瓜田	中澤信 (群大)	笹口	(群大)
	午後						休診
認知症外来	午後	休診※3	休診	休診	休診	休診	休診

- ※1 第1月曜日(7日)は内科休診となります。
- ※2 第3金曜日(18日) AM9:45~17:00 は非常勤内科医師の診療となります。
- ※3 第3月曜日(21日) 午後の診療になります。心療内科は新規受け入れを休止しております。
- ◆ かかりつけ患者様の急病時はいつでも対応します。
- ◆ 外科休診日でも軽度のケガ等はお相談ください。
- ◆ 1月休日当番医は 13日(外科)・14日(内科)・27(外科)となります。

※12/30~1/3 は、年末年始につき休診となります。

外来受付時間：午前 8時45分 から 12時00分まで / 午後13時00分 から 17時00分まで

休診日：土曜日午後、および日曜・祝日

- ※ 於川医師の診療は第1・第3金曜日および毎週土曜日となります。
- ※ 診療日変更となる場合もございますので、院内掲示板や受付窓口にて最新情報をご確認ください。

発行：吾妻さくら病院 広報委員会

吾妻郡中之条町伊勢町 782-1
TEL: 0279-75-3011
FAX: 0279-75-3299
URL: <http://www.a-sakurahosp.com/>

